

セネガルは深刻な貧困問題を抱えており、ミレニアム開発目標(MDGs)の達成と貧困層への支援が重要視されています。特に、セネガル東南部に位置し、国土の約3分の1を占めるタンバウンダ州およびケドゥグ州は、貧困率が高く、主要な保健指標^{*1}も良くありません。

日本とセネガルの両政府はタンバウンダ州とケドゥグ州を保健分野での協力の重点地域とし、2007年から無償資金協力や専門家派遣などを通じて、支援しています。こうした活動に加え、さらに両州の限られた資金・人材を効率的に活用して保健サービスを持続的に向上させるため、2011年に医療施設の効果的・効率的な運営を目指すこのプロジェクトが開始されました。

プロジェクトでは、両州の州医務局などにおける「年間活動計画(PTA)^{*2}」とその運用ガイドラインを策定するとともに、関連する研修を行いました。2012年8月から10月までの2か月間に両州の州医務局、州公共機関、10か所の保健区のマネジメントチームメンバー全員(81名)がPTA運用ガイドラインを用いた研修を受講しました。全国レベルでも同ガイドラインの普及が進んでいます。

また、州医務局などにおける人材や医療機器などの管理能力の強化のために、整理、整頓、清掃、清潔、躰の頭文字をとった「5S」活動を実践し、人材、医薬品、保健情報に関する「リソース管理ツール活用ガイド」の作成も行いました。これにより必要な物品を探すのにかかる時間が短縮され、業務の効率性が上がっています。

PTA運用ガイドラインやリソース管理に関する研修、5S活動は、新しいスタッフに対しても研修を受講したスタッフが日本人に代わって教えることで継続できるようになっており、今後も両州で自立的に活動が継続され、また、他州への普及に向けて、プロジェクトの成果が両州の内外で広報されることが期待されます。

^{*1} 1歳未満死亡率、5歳未満死亡率、妊産婦死亡率など。

^{*2} PTA: Plan de Travail Annuel(フランス語)。



診療所の年間計画策定のための演習風景。看護師がマネジメント強化研修のグループワークで意見交換している(写真: JICA)